

野菜バリバリ元気っ子



池田小学校で、食育に取り組んでおり、その一貫として、運動会に1年生が野菜のダンスを踊りました。

にんじん色のエプロンと三角巾に身を包んだかわいらしい1年生です。

「ヘルスメイト三好」の方が作られた「おもちゃのチャチャチャ」の替え歌「野菜のチャチャチャ」の曲で入場しました。野菜を食べて、元気いっぱい、リズムに乗って踊りました。

子どもたちが野菜を多く摂取するなどの習慣を身につけられるよう、家庭でも食育に取り組んでみませんか。

日頃から防災の意識を



井川町西新町地区の自主防災組織では、地元消防団の協力を得て9月30日に防災訓練を行いました。地震が起こったという設定で、迅速に避難場所に指定されている辻高校へ避難しました。その後、応急手当の方法を学んだり、非常食の試食もしました。

西新町地区を含む井川町辻地区は平成16年に台風による大規模な災害を受け、実体験のおかげで避難や各作業も迅速にできていました。しかし、いつ起こるか解らない災害のために訓練や心構えは常にしておきましょう。

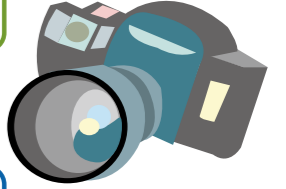
ふるさとの味を届けます



10月16日、三好やまびこふるさと会の事務局員らが、地元の特産品を詰め合わせたふるさと小包を県内外の会員243人へ発送する作業を行いました。これまでは旧池田町と旧井川町で別々の小包を送っていましたが、今年から統一し、発送されました。

内容は、三好やまびこふるさと会に「三好の逸品」として認定されている市内の11業者17品目と、農産品2種類が詰められました。様々な商品は三好市の魅力を県内外の方にもっと知っていただけることでしょう。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市役所 総務課広報係
☎0883-72-7600

おどる国文祭

文化庁や徳島県実行委員会などが主催する国内最大の文化の祭典「第22回国民文化祭・とくしま2007（おどる国文祭）」が10月27日に開幕し、28日には、かずら橋イベント広場（西祖谷山村今久保）で民謡・民舞の祭典が開催されました。

西祖谷の神代踊りを皮切りに、地元や、全国から集まった団体（県外29団体・県内12団体）が、華やかに唄や踊りを披露し、盛大に文化交流を行うことができました。



一足早く冬支度



今シーズン、四国のスキー場で最も早い11月22日にオープンする井川スキー場腕山で、10月13日から人工造雪機による雪造りが始まりました。メイングレンダの中級者用パノラマコース（430メートル）に造雪機4基を使って、24時間態勢で日量約200トンの雪を造り、オープンまでに滑走可能な積雪50センチ程度になるようコース全体に広げていきます。

16日にはリフトの取り付け作業も行われ、シーズン中に事故が無いよう、注意深く点検を行っていました。

100歳おめでとうございます



10月23日、松林マスエさん（池田町白地井ノ久保）が100歳のお誕生日を迎えられました。この日は、松林さんのお宅へ市長と県知事代理が訪問し、お祝いをしました。

松林さんは現在もお元気で、週に一度のデイサービスに通っており、会話や体操、ゲームを楽しんでいます。ご自宅では食事もしっかり食べ、天気の良い日などは近所を散歩し、陽に当たることも楽しんでおられるそうです。いつまでもお元気で過ごしてください。

祖谷口の交流人口増加



10月7日、天神山境内（山城町下川）において「祖谷口の秋フェスティバル」が開催され、さわやかな秋空の下、約400人の家族連れなどで賑わいました。

この催しは「祖谷口チャレンジ21」が中心となり8年前から毎年実施しているもので、より多くの方と秋を満喫し、広域交流を図ろうと、例年よりも充実した内容で開催されました。

参加者はカラオケや餅投げ、福引大会、各種バザーを楽しんだほか、フォークソングや沖縄民謡のライブも行われ、日が暮れるまで会場は大盛況でした。

谷口董美・山下菊二作品展



国文祭のプレイイベントとして、井川町出身の画家、山下菊二（1919-86年）と、その兄で版画家の谷口董美（1909-64年）の兄弟作品展が10月17日から井川総合支所で開かれ、2人の合作をはじめ、とても貴重な27点が展示されました。

山下は日本を代表する作家のひとりで、国内外で開かれる戦後の日本美術を振り返る展覧会のほとんどで紹介されます。今回は、兄弟の親族や友人の方々に協力をいただき、故郷で開催することができました。

神戸の中学生 三好市を体験



神戸市立西落合中学校1年生105人が三好市を訪れ、2泊3日の日程で山村の生活を体験しました。元気一杯の子供たちは、市内の受け入れ家庭28戸に民泊し、そば打ちやこんにやく作り、わら草履作り、農作業体験など、三好市の暮らしや雄大な自然の中で、普段できない体験をしました。

この事業は旧山城町が行っていたものを昨年三好市が引き継いだもので、受け入れ家庭の皆さんのご協力、市内全域で様々な体験を提供することができました。

ようこそ日本へ



オーストラリアの旅行会社やメディア関係者9人を招いて、三好市の豊かな自然や歴史文化など、観光資源をPRするツアーが10月1日から5日まで行われました。これは観光客誘致につながるもので、外国人観光客の倍増を目指す政府の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の一環です。

一行は酒蔵見学、ラフティングやかずら橋、そば打ちなどを体験し、市との意見交換会では、外国人客の誘致促進や効果的な情報発信について話し合いました。